

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第2号について(送付)
このことについて、平成17年度病害虫発生予察注意報第2号を発表しましたので送付
します。

注意報

平成17年度発生予察注意報第2号

平成17年9月2日

熊本県病害虫防除所長

農作物名	カンキツ類
病害虫名	ミカンハダニ

1 予報内容

- (1) 発生地域 県下全域
- (2) 発生時期 9月
- (3) 発生程度 平年比 多

2 注意報発令の根拠

- (1) 本年は春から、ミカンハダニの寄生葉率がほぼ平年並みに推移していたが、7月中旬の降雨で減少し、その後急増した(図1)。8月の巡回調査(県内22圃場)で、寄生葉率の平均が17.5%(平年(過去5年平均)9.2%)となり、8月としては過去16年間で最も高い(表1)。
- (2) 調査圃場では、要防除水準(寄生葉率30~40%)を越えている圃場が4圃場(18%)あった。
- (3) 果樹研究所の調査では、寄生葉率が8月中旬以降増加の傾向を示している。
- (4) 病害虫防除員(カンキツ関係6名)の報告では、8月のハダニの発生は6名中4名が平年比多~やや多、2名が並発生となっている。
- (5) 7月中旬より降水量が少なく乾燥傾向で推移しており、また9月も気温が高く降水量が平年並みの予想で、今後もハダニの発生に好適な条件が続くと考えられる。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 多発した後では農薬の効果が著しく落ちるため、定期的に園を見回り、発生初期の防除を心掛ける。
- (2) 防除の目安は、雌成虫寄生葉率30~40%、雌成虫数0.5~1頭(1葉当たり)である。
- (3) 秋期のダニは果実を加害するため、防除を徹底する。
- (4) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達し易いため、同一薬剤の連用を避ける。

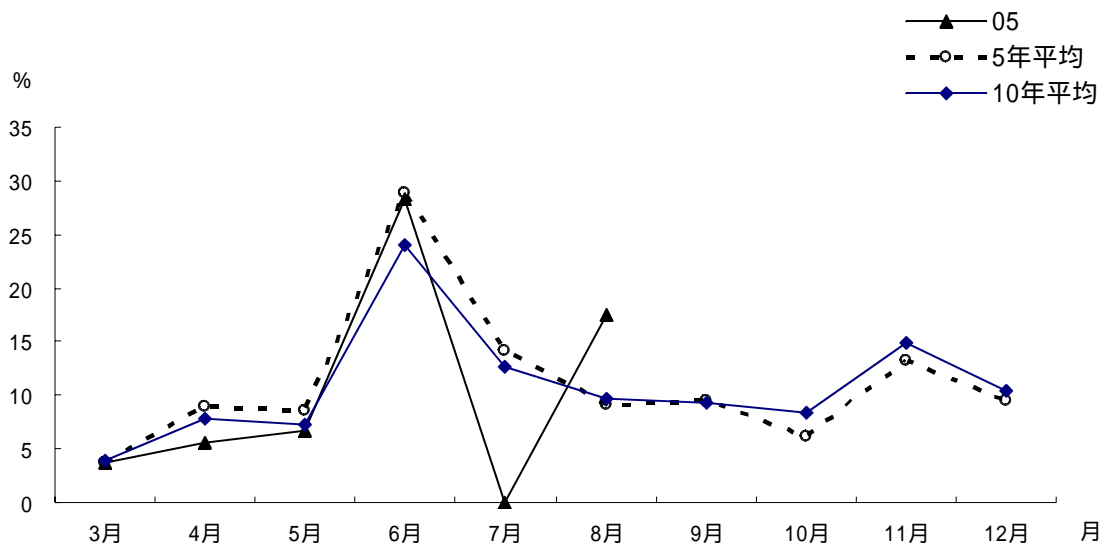


図1 ハダニ寄生葉率の推移

表1 かんきつ類ハダニ寄生葉率の推移

年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
89	6.80	2.50	3.40	9.30	13.90	7.10	6.80	27.70	31.40	
90	11.90	14.40	6.40	1.20	6.80	2.60	4.90	3.50	8.30	8.20
91	6.00	3.80	3.90	11.40	23.10	0.60	1.80	0.00	1.90	5.01
92	3.42	9.13	15.60	16.66	31.94	0.91	19.14	25.60	25.98	19.07
93	15.90	17.16	7.78	9.78	0.59	2.10	1.45	13.87	22.02	20.34
94	5.74	5.90	2.48	12.51	6.51	3.71	6.22	16.11	26.64	23.20
95	1.86	3.29	1.46	6.03	8.12	14.63	3.86	15.07	17.06	14.07
96	0.80	2.31	0.55	12.32	18.71	8.42	14.90	17.87	32.84	9.95
97	7.16	5.38	1.73	8.75	8.40	7.67	15.53	11.02	14.59	13.62
98	7.17	16.29	10.74	33.99	11.39	8.80	3.64	0.64	5.91	3.32
99	2.99	6.43	14.54	35.80	9.43	11.56	8.21	8.76	11.53	15.61
00	5.61	21.90	24.58	29.60	19.00	9.56	14.06	1.56	3.19	4.41
01	0.61	0.92	6.58	36.46	15.63	14.42	21.58	1.42	4.08	5.25
02	4.54	4.77	2.38	34.69	17.23	7.77	4.92	11.08	18.00	11.46
03	1.77	7.42	8.15	23.50	9.69	10.31	6.54	16.08	36.20	21.00
04	6.48	9.91	1.18	19.82	9.09	4.00	0.18	0.91	4.64	5.00
05	3.67	5.64	6.73	28.27	0.09	17.45				
5年平均	3.80	8.98	8.57	28.81	14.13	9.21	9.46	6.21	13.22	9.42
10年平均	3.90	7.86	7.19	24.10	12.67	9.71	9.34	8.44	14.80	10.37

(病害虫防除所巡回調査結果)